



白根小 HP

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirane/>

実りの秋に向けて

校長 海老澤 孝代

5年生の田んぼの稲穂が垂れ、色づき始めました。朝晩は涼しくなり、学習に運動に何をするのも良い季節となりました。

6年生は地域に視点を当てた学習を行っています。今までお世話になった白根のまちの役に立ちたいという思いから、自分たちにできることは何だろうと課題をもちました。地域の方に話を聞き活動していく中で、疑問に思ったことやもっと知りたいことが見付き、それをまた解決していくということを繰り返し、学習が進んでいきます。

1組は社会科の学習から旭区に高齢者が多いことを知り、いつまでも健康でいられるまちにしたいと『ウォーキングマップづくり』に取り組んでいます。2組は総合的な学習の時間で SDGsを学び、捨てるものを減らそうと『古布を実用的なものにリメイクする活動』を始めています。3組も総合的な学習の時間を進めていく中で、お世話になった白根のまちを盛り上げたい、恩返しがしたいという思いをもち、『あさひの逸品づくり』『新しいメニューづくり』に挑戦しています。

私は、4月の家庭科『共に生きる地域での生活』の学習で、地域の方から「白根はいいところだ。安心して暮らせるまちにしたい。今よりもっといいまちにしたい。そのために地域の活動を行っている。」という熱い思いを聞き、自分と地域との今までの関わりを振り返ったことが、この学習につながっているのだと思っています。それから、地域コーディネーターの方々の協力も大きいです。白根小学校では毎月のように地域コーディネーター会議が行われ、各学年から出された『このような活動をしたいのでコーディネートしてほしいという相談シート』を基に、学校と地域の人を結ぶ大切な活動をしていただいています。今回も、町内会・自治会や商店など多くの方をつないでくださいました。「子どもたちと学習できることはうれしい。」「いつも元気をもらっているから、一緒にできることをしたい。」「子どもたちがやるといっているのだから、協力したい。」と6年生の活動にご協力いただいていることに感謝申し上げます。子どもたちには、協力してくださる方々の白根のまちに対する姿勢や生き方から、たくさんのことを学び、成長していくことを願っています。

6年生の学習はまだ始まったばかり。稲穂が実るように、子どもたちの学習がこれからどのように実を結んでいくのか楽しみにしています。